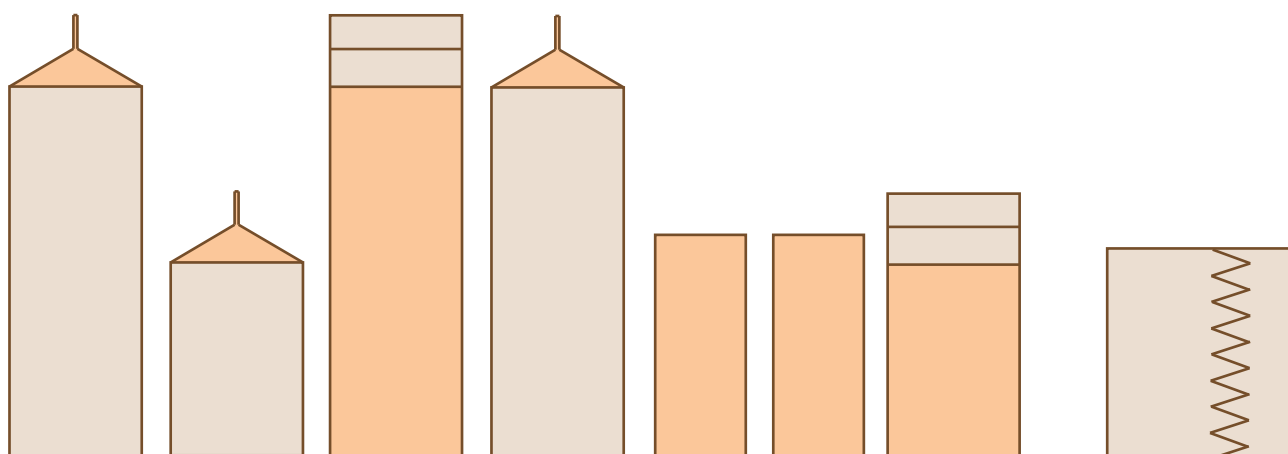


2008年版

飲料用紙容器（紙パック）リサイクルの 現状と動向に関する基本調査

2007 年度 リサイクルの実態



- 紙パックの回収率が 40%を、使用済み紙パックの回収率が 30%を超えました
- 全国のスーパーマーケットをくまなく調査した結果、店頭回収量が大きく増加しました
- 紙パックの取引価格が前年度に引き続いて上昇しました



(略称：容環協)
全国牛乳容器環境協議会
COMMITTEE FOR MILK CONTAINER ENVIRONMENTAL ISSUES

2008 年 12 月

2007 年度のマテリアルフローと回収率

紙パックメーカーの飲料用紙パック原紙使用量は、255.9 千トンでした。飲料メーカーからの出荷量は、家庭系が 194.1 千トン、自販機・飲食店等と学校給食の事業系がそれぞれ 9.9 千トン、11.7 千トンで、家庭系が増加しました。使用された紙パックのうち家庭系からの回収は、店頭回収が大きく増加したことで 55.6 千トンに、事業系も自販機・飲食店等と学乳がともに増加したことで 10.2 千トンになりました。この結果、使用された紙パックからの回収量は、65.8 千トンとなり、昨年より 8.7 千トン増加しました。これらの使用済み紙パックからの回収と、紙パックメーカー・飲料メーカーからの損紙・古紙の回収を合計した国内紙パック回収量は、105.2 千トンとなり、10 万トンの大台を超えました。

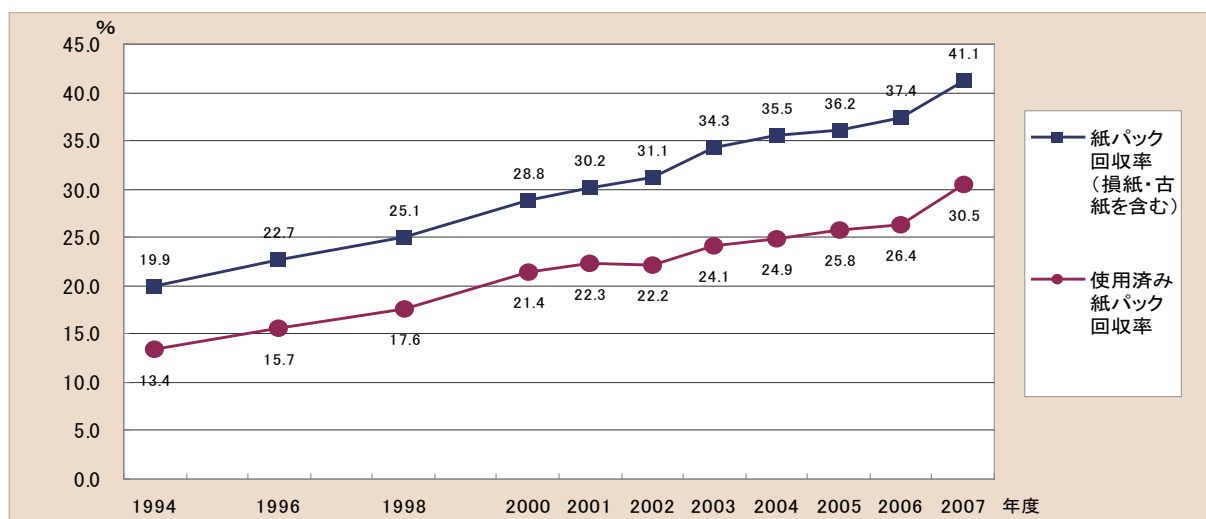
回収率は、損紙・古紙を含めた紙パック回収率が 41.1%に、使用済み紙パック回収率が 30.5%になり、それぞれ前年度を大きく上回りました。

2007 年度 回収率

(1) 紙パック回収率 (損紙・古紙を含む) **41.1 %** (2006 年度 37.4 %)
＝国内紙パック回収量 (105.2 千トン) / 飲料用紙パック原紙使用量 (255.9 千トン)

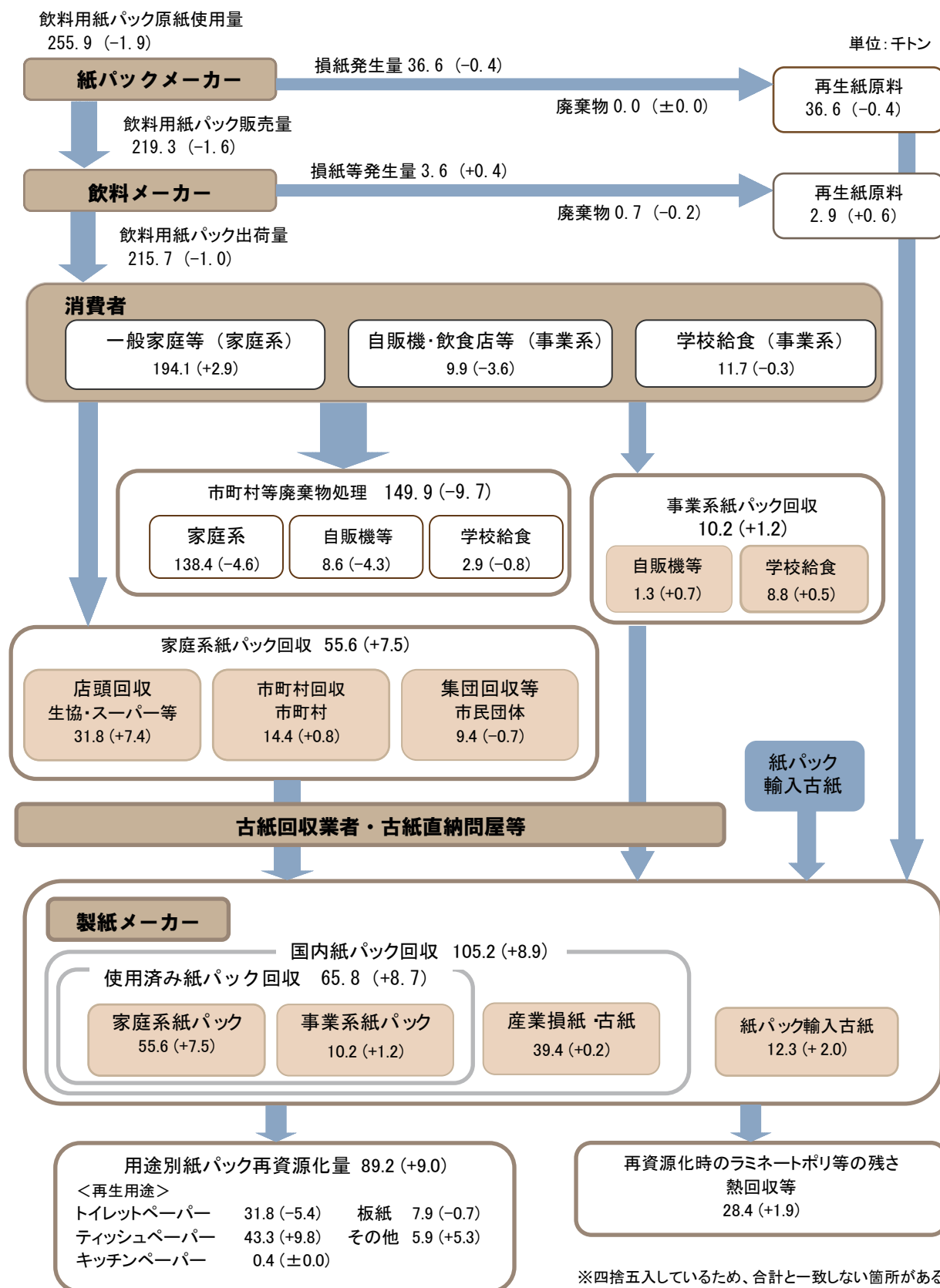
(2) 使用済み紙パック回収率 **30.5 %** (2006 年度 26.4 %)
＝使用済み紙パック回収量 (65.8 千トン) / 飲料用紙パック出荷量 (215.7 千トン)

紙パック回収率の推移



2007年度 紙パックマテリアルフロー

注：（ ）は 2006 年度との差



使用済み紙パックの回収

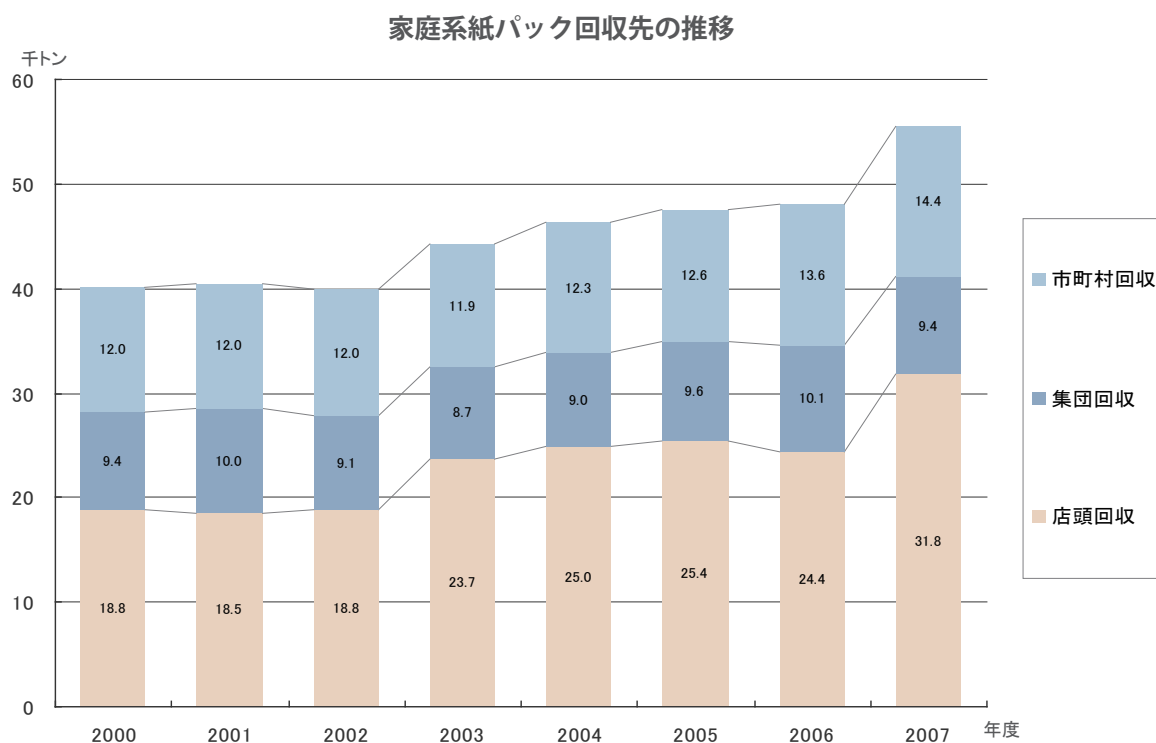
店頭回収

家庭系からの回収は、大きく店頭回収、集団回収、市町村回収に分けられます。このうち、集団回収は前年度よりも減少しましたが、店頭回収と市町村回収は増加しました。特に店頭回収は、前年度よりも 7.4 千トン増加しました。

店頭回収が大きく増加した理由の一つは、全国のスーパーマーケットを徹底的に調査したことにあります。店頭回収量の推計方法は、日本チェーンストア協会と日本生活協同組合連合会の調査結果に基づく推計に、これらの会員外であるスーパーマーケットを対象とした独自調査結果を加える方法をとっています。

前年度までの独自調査は、対象を全国スーパーマーケット協会会員と日本セルフ・サービス協会会員のみにしていました。本年度の独自調査は、全国の商品を取り扱うスーパーマーケットチェーン 950 に拡大しました。これにより、小規模チェーンを含めて、わが国のスーパーマーケットをほぼ網羅することができました。調査範囲の拡大に伴い、紙パック回収量も大幅に増加しました。

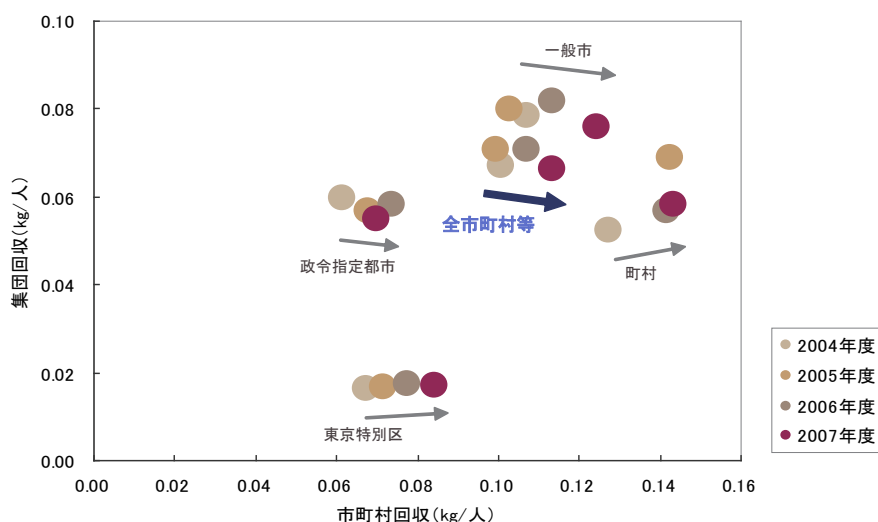
家庭からの紙パックを最も多く回収しているのは店頭回収であることに変わりはありませんが、店頭回収量が占める割合も増加しました。



集団回収と市町村回収

集団回収量と市町村回収量は、自治体を対象にしたアンケート調査をもとに、一般市、政令指定都市、東京特別区、町村の4都市類型に分けて推計しています。ステーション回収などの市町村回収と集団回収の両方で、全国人口の2/3近くを占める一般市が、町村とともに高い数字を示しています。全体的に、集団回収から市町村回収に移行しています。

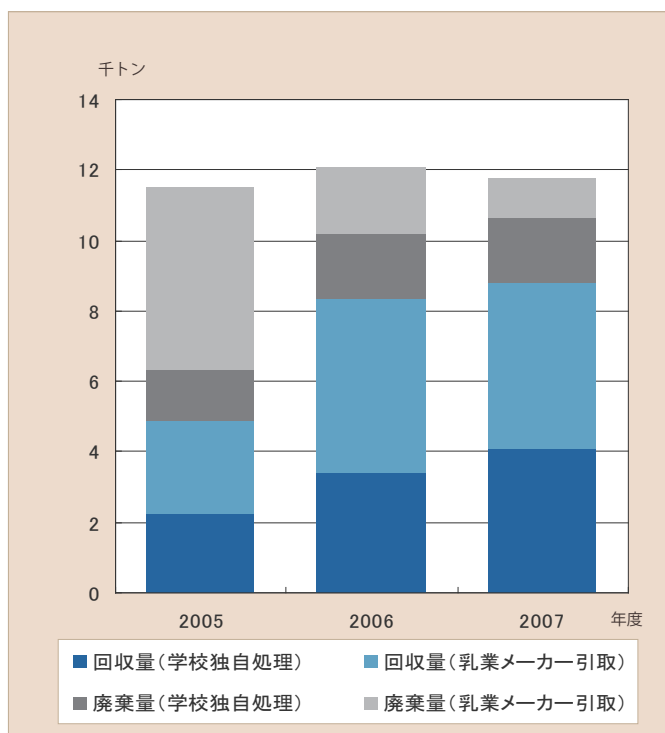
集団回収と市町村回収の都市類型別原単位の推移



学校給食用紙パック

学校給食の紙パックは、乳業メーカー引き取り処理から、学校の独自処理に変わりつつあります。小学校へのアンケート調査から、学校独自処理で資源回収が増えていることがわかりました。また、引き取った飲料メーカーでも回収が増えています。

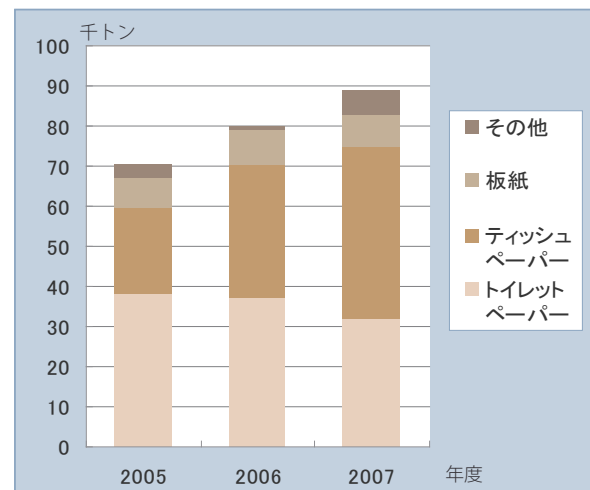
学校給食用紙パックの回収動向



紙パックの再生品

紙パックから再生される製品は、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、板紙、キッチンペーパーなど多様です。これらのうち、ティッシュペーパーの再生量が増加しています。

紙パックから再生される製品の推移



取引価格

市町村等が回収した紙パックは、取引条件によって価格が異なってきます。ここでは、紙パック単独価格を設定している市町村等のステーション回収と拠点回収の取引価格を、取引先と、取引方式（引渡か持込）とにそれぞれ分けて集計しました。また、集団回収の取引価格も集計しました。

最も回答数が多い古紙回収業者との取引をはじめとして、いずれも取引価格が上昇しました。特に、取引件数が増えている古紙直納問屋の取引価格が上昇しています。また、集団回収の引渡の取引価格も初めて5円台になりました。

取引先・方式別 紙パック取引平均価格の推移

(円/kg)

取引先	取引方式	2005 年度	2006 年度	2007 年度
古紙回収業者	引渡	5.7	6.6	6.7
	回答数	148	192	138
	持込	5.8	6.1	7.3
	回答数	66	145	121
市町村回収	引渡	6.1	8.4	9.3
	回答数	28	38	71
	持込	5.8	7.4	8.4
	回答数	62	113	152
製紙メーカー	引渡	6.0	5.4	9.4
	回答数	16	16	16
	持込	7.9	8.9	9.4
	回答数	27	29	18
集団回収	引渡	3.9	4.2	5.0
	回答数	160	222	237
	持込	4.4	5.5	6.4
	回答数	60	71	63

紙パック販売量

紙パックメーカーから飲料メーカーに販売された紙パックを容器の大きさと中身飲料の種類で分けて傾向をみています。容量 500ml と 500ml 以下の小型容器の減少率が大きくなりました。中身飲料種類では、果汁・清涼・アルコール飲料が増加を続けています。

容量別と中身飲料種類別の紙パック販売量の推移

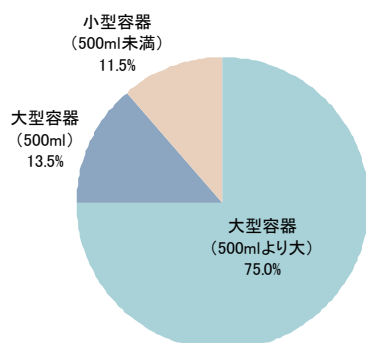
単位：トン

		2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度 対前年度比	
飲料用紙パック販売量		211,302	217,782	218,538	220,887	217,674	-1.5%
容量	大型容器 (500ml 以上)	186,848	192,510	192,059	195,120	192,676	-1.3%
	> 500ml	—	—	161,892	164,224	163,327	-0.5%
	500ml	—	—	30,167	30,896	29,349	-5.0%
	小型容器 (500ml 未満)	24,454	25,272	26,479	25,767	24,998	-3.0%
飲料 種類	飲用牛乳	146,008	151,292	151,155	148,678	143,324	-3.6%
	発酵乳等	11,660	7,372	7,269	7,421	6,991	-5.8%
	果汁飲料	22,028	24,592	25,772	27,274	28,048	+2.8%
	清涼飲料	22,569	26,714	27,308	30,504	30,801	+1.0%
	アルコール飲料	9,037	7,811	7,034	7,011	8,510	+21.4%

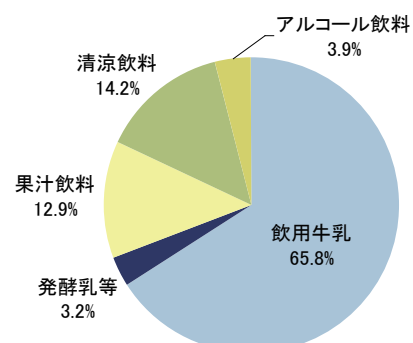
* 大型容器は、2005 年度から 500ml より大きいものと 500ml に分けて調査をしています。

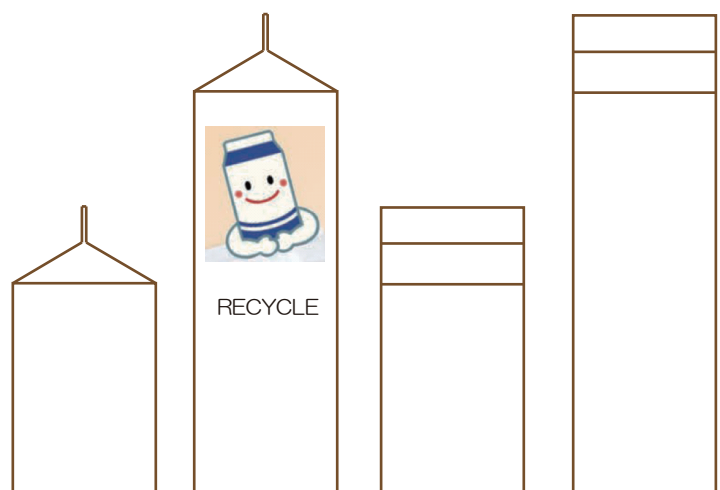
* 販売量のうち内訳不明分は除いています。

2007 年度
容量別の飲料用紙パック販売量



2007 年度
中身飲料種類別の飲料用紙パック販売量





飲料用紙容器（紙パック）リサイクルの
現状と動向に関する基本調査
2007 年度 リサイクルの実態

発行日 2008 年 12 月
発 行 全国牛乳容器環境協議会（略称：容環協）
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-19 乳業会館
TEL 03-3264-3903 FAX 03-3261-9176
URL <http://www.yokankyo.jp>

調査・制作 株式会社エコイプス
URL <http://www.ecoips.co.jp>

本誌は、エコマーク認定の印刷用紙を使用しています。
古紙/パルプ配合率は 100%、白色度は 70%となっています。